

## うま年の「うま」はなぜ「午」なのか？

副校長 細井 宏一

2014年の干支は「うま」です。予てから気にはなっていたのですが、なぜ、うま年を「馬」ではなく「午」と書くのか。先日、練馬区大泉西地区PTAの会合に伺ったとき、ある校長先生がこのことについてお話しくださり、とても印象的であったので自分も調べてみることにしました。

「午」の漢字の由来は「餅（もち）をつく時に使う杵（きね）の形を描いた象形文字」で、餅をつくときに杵を二人の人が代わる代わるしながらつくところから、「交差する」「上下に動かして入れ替わる」「前半と後半の切り替え」「方向が変わる」といった意味があるようです。

そういえば、「午（うま）年」は十二支の7番目、十二支の前半から後半へ切り替わる場所です。時間という「午（うま）の刻」の時刻は、午前11時から午後1時までの間を指しますが、これも1日の中の前半と後半が切り替わる時間です。丁度その中心、正に切り替わるのが十二時なので「正午」といい、その前を「午前」、その後を「午後」というように言葉ができて今でも使われているのだそうです。

では、なぜ「午」の字を「うま」としたのか。これには、時間を表す十二進法を、庶民に浸透させるために十二の動物の名前を当てたというのが有力な説のようです。そして、「うま」は「足を交互に上下にあげて歩くので『馬』に当てはめて、農民が覚えやすいようにした」ということが一つの説としてあるようです。しかし、どうして「ね、うし、とら、…」の動物が選択されたのか、そしてその順番になったのかについては、私の調べたものの中では、不明とのことでした。

いずれにしても前半から後半へ入れ替わる年、折り返し点、運命の方角が変わる年、といったような意味づけがされることが多いようです。午年である今年は、「上昇機運に転じて、何事も向上していく」と期待したい年ですね。

本校でも、年度内に南棟校舎・プールの改修が完了する予定です。（工期が遅れていて、2月末完成との連絡が来ています）保護者・地域の皆様と連携をしながら、教職員一同も馬力を出して、子どもたちのためのよりよい教育活動を「うま」く展開していけるよう、本年も努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、1月25日（土）に本校で研究発表会を開催いたしました。PTA常置委員の皆様には、様々な面でご協力をいただきました。お陰様で、全国から450名を超える教育関係者の方に参会いただきました。参加者のアンケートには、「保護者の方の対応が、とても心温まるもので、安心して参観することができました」といったコメントが、多数寄せられています。PTA常置委員会の皆様には、「おもてなし」の心で、参観者の方にご案内や接待等ご尽力を賜りましたこと、教職員一同、中心より厚く御礼申し上げます。